

2025年美術検定

**1 級オンライン試験／2 級オンライン試験
実践問題**

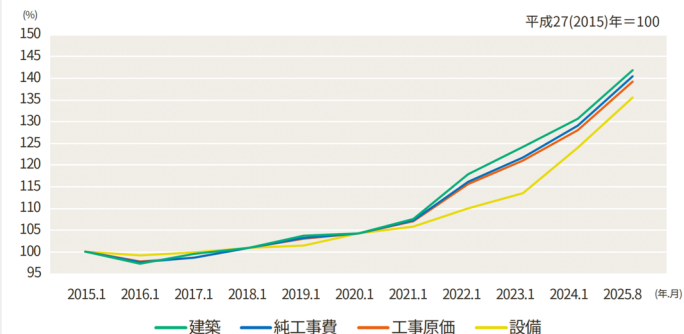
★が正答です

実践問題A

[テーマ設問]

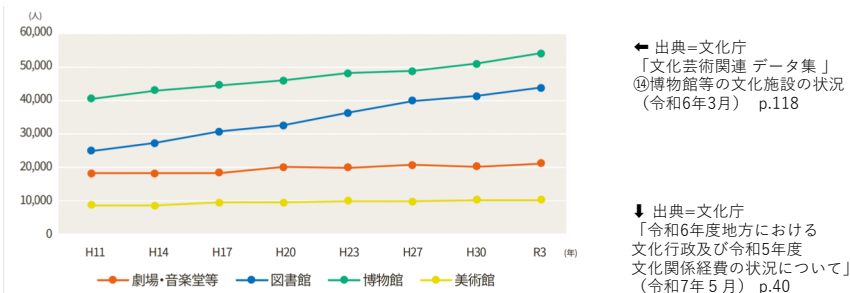
市立A美術館の友の会に入っている杉山さんと黒田さんが、最近気になる美術館の問題について、複数の資料をみながら話をしています。以下の【資料1～4】を参照し、続く設問に答えてください。

【資料1】建設物価 建築費指数[®] 推移(東京) 建物種類:集合住宅(RC造)

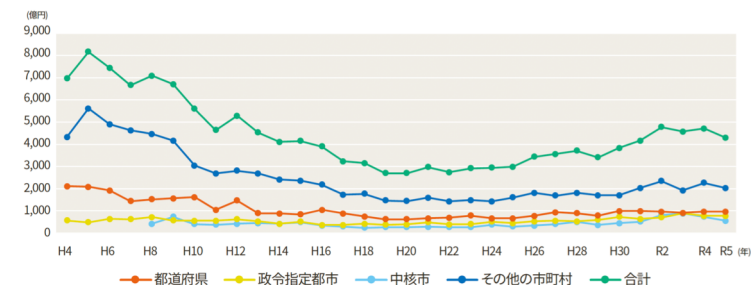


出典=一般財団法人建設物価調査会 総合研究所「建物物価 建築費指数」2025年7月10日
https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/

【資料2】文化施設の職員数推移



【資料3】芸術文化経費〈都道府県別・市町村別集計額の推移〉



【資料4】2人の会話

杉山 中野サンプラザや目黒区美術館など公共施設の建設計画の見直しがニュースで大きく取り上げられているね。しばらく前から建設費の高騰が話題になっているけどどのくらい高くなっているんだろう。

黒田 このグラフ（【資料1】）を見ると、2020年の終わり頃からぐっと上がってきている。

杉山 2015年を100とすると2025年6月は物価指数が約40も上がっているんだ。指数の上昇要因としては、時期的にみてコロナ禍やウクライナ侵攻の影響が大きいのかな。

黒田 そうだね。（ ア ） 価格が上がったと思う。さらに木材や（ イ ） 価格も上昇したよね。

杉山 （ ウ ） の影響も深刻なのでは？ 毎日の生活の中でも（ ウ ） 要因の物価高騰は切実に感じるよ。美術館や建築が好きで見ているけれど、最近は美術館の閉館やリニューアルも、こんなにも世界の情勢と直結しているのかと実感するなあ。

黒田 あと日本では「建設業の2024年問題」も建築費高騰につながっているんだよ。

杉山 ニュースで見た、働く環境を整えると従事者がもっと必要になるって。そういえば、最近をよくA美術館も人手が足りないという学芸員さんや職員の方のぼやきが聞こえるのだけれど。

黒田 2022年の博物館法改正で、美術館や博物館がやることは確実に増えたものね①。 おかげで新しい取り組みはどの部署が担当するのかという問題もあると聞いた。

杉山 最近では小さい子どもがいるご家族や障害がある方をはじめ、多様な方々へ対応するプログラムやサービスを提供する美術館が増えたよね。

黒田 利用者としては、いろいろな人が美術館を楽しめる手段が増えるのはうれしい。地域での連携も含めて美術館への要望は多種多様な方向に高まっているけれど、このデータ（【資料2】）によると、美術館や博物館で働く人の数がこの20年、ほぼ横ばいなのは気になるなあ。

杉山 これは1人あたりの仕事量が増えるね。もちろん、組織内で仕事の見直しなどはするだろうけど……。そういえば、またインバウンドが急増しているよね。先日、久しぶりに東京国立博物館に行ったら、本館に居るのはほぼ外国の方で、いろいろな言葉が飛び交っていて驚いた。小規模な館だと日本語が母語でない来館者への対応②だけでも大変そうだね。

黒田 確かに。【資料2】【資料3】を比較して見ると、建設計画の見直しも同じ根っこなのかもしれない③。となると、美術館・博物館の基本的な活動である（ エ ） とどのようにバランスをとっていくのかも大切なんだろうね。

問題 1

【資料 2】の空欄（ア）（イ）（ウ）に当てはまる文や語句の組み合わせとして、最も適切なものを選んでください。

- 1) (ア) もう 1 つ、2024年問題などへの対応に伴うコスト上昇が幅広い資材に広がって
(イ) 食料
(ウ) 世界インフレ
- 2) (ア) 世界的な経済回復やウクライナ情勢を巡る混乱で資材調達は困難になって
(イ) エネルギー
(ウ) 円安 ★
- 3) (ア) もう 1 つ、2024年問題などへの対応に伴うコスト上昇が幅広い資材に広がって
(イ) エネルギー
(ウ) 世界インフレ
- 4) (ア) 世界的な経済回復やウクライナ情勢を巡る混乱で資材調達は困難になって
(イ) 食料
(ウ) 円安

問題 2

2022年の博物館法改正では複数のポイントがありました。【資料4】の下線部①で黒田さんが言及しているのはどのポイントですか。【資料 2】～【資料 4】を参照のうえ、を選んでください。

- 1) 博物館登録制度の見直しによる、設置者要件から法人類型の制限撤廃
- 2) 博物館資料のデジタル・アーカイブ化
- 3) 文化芸術基本法の精神に基づく、地域との連携や観光・福祉などへの寄与の努力義務化 ★
- 4) 学芸員の役割に、美術館・博物館が社会包摂や地域創生の礎となるための対応を追加

問題 3

【資料 4】の下線部②の内容例として最もふさわしいものはどれですか。【資料 4】の内容を参照のうえ、を選んでください。

- 1) 対象別の観覧料設定
- 2) やさしい日本語を用いたパンフレットの制作 ★
- 3) 授乳室や休憩室、大型ロッカーの完備
- 4) オンラインチケット販売システムの導入、SNSの活用

問題 4

【資料 4】の空欄（エ）に当てはまる語句の組み合わせとして、最もふさわしいものはどれですか。

- 1) 作品の収集－保存－展示－来館者への合理的配慮
- 2) 作品の保存－調査研究－社会連携企画－展示
- 3) 作品の収集－保存－調査研究－展示 ★
- 4) 作品の収集－調査研究－解釈－来館者への教育

問題 5

黒田さんが【資料 4】の下線部③のように考えた理由について、【資料 2】～【資料 4】を参照のうえ、最もふさわしい内容を選んでください。

- 1) 地方の公立美術館では、人員不足から来館者に提供する多様なプログラムをどの部門が担当するか明確にできず、建設計画の進行にも影響している。
- 2) 地方の公立美術館では、インバウンド対応やアクセシビリティを高めることが優先課題とされ、人材や建設計画に割く予算が不足している。
- 3) 観光立国のために美術館はインバウンドを意識したサービスや施設を提供する必要があるが、地方公立美術館の運営には経営的視点が不足している。
- 4) 公立美術館の職員数や建設計画の問題は、芸術文化振興に関する予算が30年前の約半分まで縮小した地方財政の厳しさに起因している。 ★

実践問題B

【テーマ設問】

大学生の坂本さんと山田さんは、「現代の美術」という授業で実際に美術館を訪れたことをきっかけに、世界的な美術の潮流や動向について興味を持ち、共同でリサーチを始めました。また、いくつかの資料を参照しながら、自分たちなりに2020年代の潮流をまとめようとしています。

下記の資料を参照し、続く設問に答えてください。

【資料1】2人の会話

〈美術館にて〉

坂本 この作品、1人の作家じゃなくて、複数の人たちのグループによってつくられたみたい。

山田 グループで作品をつくるって、なんか聞いたことある。日本だとハイレッド・センターなどが思い浮かぶね。

坂本 そうだね。でも、ハイレッド・センターとは、表現というか活動の方向が違うのかな？① 作品のキャプションにはグループではなく「アーティスト・コレクティブ」という表記がしてある。

山田 最近私もその言葉よく聞くなあ。詳しく調べてみようよ。

〈後日、大学にてランキング資料を見ながら〉

坂本 あれから調べてみたら、【資料2】のように「アーティスト・コレクティブ」は、アートを通じた共同体のようなものらしいよ。社会や地域と関わりながら表現を生み出すような活動をしているものが有名みたいだね。

山田 芸術といえば、「ひとりの天才が生み出すもの」と考えていたけど、協働的、ネットワーク的な実践として制作や活動を捉えているのがアーティスト・コレクティブかな。

坂本 そう言えば、2022年から24年の「Art Power 100」という、アート界で影響力のある100組のランキング（【資料3】）を見て気づいたんだけど。アートが表現を超えて、社会変革の実践的手段として認知されていたり、作品制作だけでなく制度設計に関わる実践者が重視されていたりする傾向が読めそう。（②）の拠点も注目されているみたい。これらの傾向は、アーティスト・コレクティブの動きに重なりそうじゃない？

山田 社会問題に取り組む Forensic Architecture や、ガーナの大学を拠点に教育や地域活動を行う blax TARLINES KUMASI などが、2023年からランクアップしているのもそういうことかな。

坂本 これらのコレクティブは、社会問題や環境問題、人権などさまざまな切り口でリサーチした過程や結果を、論文や研究発表とは違う“アートの表現”として見せているように思うんだよね。

山田 なるほど。2022年のランキングで1位に選出されたインドネシアのジャカルタを拠点に活動する ruangrupa（ルアンルパ）は、国際展のフォーマットを使いながら違う構造へアプローチしようとしたという記事※を読んだ。

坂本 ドクメンタ③15の総合ディレクターを務めたときのことだね。確か展覧会のテーマに「lumbung（ルンブン）」という「共有」の精神を掲げて、世界各地のコレクティブと連携しながら市民参加型の展覧会づくりをしたってニュース記事で見たよ。国際展といえば、2024年のヴェネツィア・ビエンナーレ④には、2024年の91位にランクインしたCATPCが選出されているね。

山田 今さらだけど、2022年以降の【資料3】のランキングを見てみると、20年前と今ではアートのシステムが様変わりした⑤と感じる。アーティスト・コレクティブをはじめとした今のアートの潮流は、（⑥）だね。美術館に並んだ作品だけがアートじゃないんだって納得したよ。

※廣田緑「ドクメンタ15におけるルアンルパの挑戦：《ルル学校》の実践で生まれたフォーマット」TOKYO ART BEAT、2022年10月21日公開
<https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/documenta-fifteen-ruangrupa-2022-10>

【資料2】アーティスト・コレクティブ（Artist Collective）

アーティストによって形成された集団。アートグループとほぼ同義である。2022年のドクメンタ15のアーティスト・ディレクターをインドネシアのアーティスト・コレクティブ「ルアンルパ」が担うことに象徴されるように、現在のアートの実践においてコレクティブの存在は欠かせない。しかし一方で、アーティストはさまざまな時代、地域において、短期的、長期的を問わず集団を形成し表現活動を行ってきており、アーティスト・コレクティブが近年に突出して出現しているわけではないことには注意が必要である。この語が現在注目を集めているのは、個人主義的な限界を乗り越え、より広範な人々との協働のもとで実行される実践が再評価されている社会状況と不可分である。コレクティブという語は、グループと比較して、その集団形成が有機的、流動的であることが含意されており、さまざまな人々との協働作業（コラボレーション）の重要性への認識や、風通しのよさへの希求が表われているといえる。これは裏返せば、インターネットやグローバリゼーションによって、情報、技術、人、物質の離合集散が容易になったこと、あるいは新自由主義経済が要請するフレキシブルな労働形態や貧困とも無関係ではないことを意味する。

出典＝長谷川新「アーティスト・コレクティブ」artscape(アーツスケープ)、2023年3月11日更新
<https://artscape.jp/artword/5558/>

実践問題B

【資料3】『ArtReview』による「Art Power100」より

■2024年 トップ10および100位内にランクインしたアーティスト・コレクティブ			
順位	氏名・団体名	キャプション（職業、属性、活動など）	前年 順位
1	シェイカ・フール・アル・カシミ	キュレーター、シャルジャ・ビエンナーレディレクター。シャル ジャ・アート財団の創設者。あいち2025の芸術監督	36
2	リクリット・ティラヴァーニヤ	アーティスト。影響力の高いキュレーター、教育者	3
3	サイディヤ・ハートマン	作家、文化史研究者、思想家、コロンビア大学教授。ブラック・スタ ディーズ研究をはじめ、法と文学のインターセクショナルリティ、アー カイブの探求などについて影響力を持つ	34
4	スティーヴ・マックイーン	アーティスト。隠された歴史に光を当てる映画監督、TVディレクター として受賞歴あり	8
5	フォレンジック・アーキテクチャー Forensic Architecture	アーティスト・コレクティブ。イスラエル出身建築家が創設した人権 侵害を調査する学際的研究機関	13
6	ワエル・シャウスキー	アーティスト。2024年第60回ヴェネツィア・ビエンナーレのエジプト 代表	-
7	ナン・ゴールディン	アーティスト。伝説の写真家であり、美術行政と密接に関わる製薬会 社が製造した特定薬物危機に対応する市民団体P.A.I.N.の創設者	1
8	ケリー・ジェームズ・マーシャル	アーティスト。国際的に影響力を持つアフリカ系米国人画家	-
9	アンナ・コーンブルー	思想家、文学者、イリノイ大学教授。フレデリック・ジェイムソンの 思想を受け継ぐアメリカ人作家	-
10	ジョン・アコムフラ	アーティスト。ブラック・オーディオ・フィルムコレクティブの共同 設立者、イギリス現代アートの象徴的存在	33
81	ブラックスターラインズ blaxTARLINES	アーティスト・コレクティブ。ガーナ芸術のための組織ネットワーク と起業支援組織	84
91	セルクル ダール デト ラヴァイユール ドゥ プラ ンテーション コンゴレーズ Cercle D'Art Des Travailleurs de Plantation Congolaise（略称CATPC）	アーティスト・コレクティブ。コンゴを拠点とし、植民地主義批判、 土地の再生と買い戻し、アートによる経済的変革に取り組む。2024 年、ヴェネツィア・ビエンナーレのオランダ館の代表	-

■2023年 上位20位までにランクインしたアーティスト・コレクティブ			
順位	氏名・団体名	キャプション（職業、属性、活動など）	前年 順位
9	カラビング・フィルム・コレクティブ Karrabing Film Collective	アーティスト・コレクティブ。意識啓発のためのツールとしてアート と映画を活用するオーストラリア先住民の映画制作者たち	21
13	フォレンジック・アーキテクチャー Forensic Architecture	2024年参照	25

■2022年 上位20位までにランクインしたアーティスト・コレクティブ			
順位	氏名・団体名	キャプション（職業、属性、活動など）	前年 順位
1	ルワンルバ ruangrupa	アーティスト・コレクティブ。ジャカルタを拠点とするアーティスト 集団。ドクメンタ15(2022年)の芸術ディレクター	3
3	ユニオンズ Unions	アクティビスト運動。アーティストと美術館職員による集団行動	-

■「Art Power 100」補足説明
イギリスの現代美術雑誌『Art Review』が毎年発表している、アート界でもっとも影響力のある100組のランキン
グ。世界中のアート関係者40名からなる審査委員会の意見をもとに選出されるもので、審査委員会は「過去12ヶ月間
に活躍した人物であること」「彼らの活動が現在のアート界を形成していること」「彼らの影響力がローカルなもの
ではなく、グローバルなものであること」という3つの基準を設けている。

出典＝Power 100: The annual ranking most influential people in Art 2024, 『ArtReview』2024年12月4日発表
※2023年・2022年のランキングは以下URLを参照、引用
<https://artreview.com/power-100/>

【資料4】Art Power100 2004年 トップ10

■2004年 トップ10		
順位	氏名・団体名	キャプション（職業、属性、活動など）
1	ラリー・ガゴシアン	ギャラリスト。世界最大級のギャラリーの後継者
2	グレン・D・ローリー	ニューヨーク近代美術館（MoMA）館長（当時。2025年に交代）
3	ニコラス・セロータ	キュレーター、英国国立美術館テート館長。テート・モダンを開館さ せた立役者
4	マウリツィオ・カテラン	アーティスト。イタリア出身、ウィットの効いた彫刻やインスタレー ションで知られる
5	サム・ケラー	アート・バーゼルの元ディレクター、アート・バーゼル・マイアミの 創設者
6	ダキス・ジョアンヌ	コレクター。アテネのNPO、DESTE現代美術財団の設立者
7	ウィリアム・ルブレヒト	オークションハウス、サザビーズのCEO（当時）
8	ロナルド・ローダー	コレクター。ノイエ・ギャラリー（ニューヨーク）の設立者
9	ロバート・ストー	キュレーター。批評家、アーティスト
10	村上隆	アーティスト。日本出身、有限会社カイカイキキCEO

出典＝Power 100: The annual ranking most influential people in art, Art 2004 『ArtReview』2004年12月号
※データは以下URLを参照、引用
<https://artreview.com/power-100/>

問題 6

【資料1】の線部①について、坂本さんはリサーチ後、「ハイレッド・センター」と
【資料2】にある「アーティスト・コレクティブ」の違いをどのようにとらえました
か。【資料2】、【資料3】も参照し、最もふさわしいものを選んでください。

- 「ハイレッド・センター」は1年間の短期間で活動を終了したが、「アーティ
スト・コレクティブ」は長期間の調査研究をもとに活動を行う。
- 「ハイレッド・センター」は複数人のアーティストのみで構成されているが、
「アーティスト・コレクティブ」は、アーティスト以外に、研究者や編集者、エン
ジニア、経営者などアートとは別分野の専門家によって構成されている。
- 「ハイレッド・センター」の活動は芸術の意味やその境界について問題提起するも
のだが、「アーティスト・コレクティブ」は、多様な社会問題について可視化し、
問題提起するためにアートの表現やアート活動が行われる場を活用している。★
- 「ハイレッド・センター」は活動ごとにメンバーを変え行動を起こしたが、「アー
ティスト・コレクティブ」は固定メンバーで多様な社会問題に取り組み、アートの
表現やアート活動を通じて問題提起や解決へのアクションを起こしている。

問題 7

【資料 1】の空欄（ ② ）に当てはまる地域として、最もふさわしいものはどれですか。【資料 1】～【資料 3】を参照して選んでください。

- 1) アジア
- 2) アフリカ
- 3) グローバルノース
- 4) グローバルサウス ★

問題 8

【資料 1】の下線部③④の国際芸術祭について、以下ア～オの説明のうち、ふさわしい組み合わせはどれですか。

[国際芸術祭の説明]

- ア 自国民に現代美術の動向を紹介し、開催地を国際的な美術の中心都市とすることを旨とする芸術祭として、20世紀半ばに創設された。国別出展から始まり、1980年代にディレクター制へ移行した。
- イ 開催地の文化施設と都市政策が連携し、アーティスト・イン・レジデンスや市民参加型プログラムを通じて、芸術による地域再生を試みることを目的とする。
- ウ 近代美術・前衛芸術の名誉回復と芸術文化の復興を目指して創設された国際展で、1970年代より芸術監督によるテーマ設定が特徴。社会や政治、環境などに関するリサーチを出発点とした表現が多く、国家単位での出展は行われない。
- エ 王族財団によって運営され、南西アジアやアフリカ出身の作家に焦点をあてる。展示はイスラム圏の文化的文脈を意識した空間構成が多い。
- オ 国家パビリオン制度を基盤とし、各国の文化機関が自国の代表作家を選出する方式で知られる。19世紀末に創設された歴史をもち、建築や音楽、映像などジャンルを横断する。

- | | |
|------------|----------|
| 1) ③ア ④ウ | 4) ③ウ ④ア |
| 2) ③イ ④エ | 5) ③エ ④イ |
| 3) ③ウ ④オ ★ | 6) ③オ ④ウ |

問題 9

【資料 1】の下線部⑤について、山田さんはなぜこのように発言したのでしょうか。【資料 3】、【資料 4】を参照し、最もふさわしい理由を選んでください。

- 1) 2000年代初頭は、アーティストより美術市場とアートのインフラを動かす制度側が重視されていたため。
- 2) 2000年代初頭には新自由主義経済とグローバル資本が急拡大し、アートの金融資産化が顕著になったため。
- 3) 2000年代初頭のアーティストの役割は、欧米の外からアート市場に参入し、新たな市場価値を生み出す象徴となることだったため。
- 4) 2000年代初頭は、文化的多様性よりも欧米中心のグローバルな美術制度を誰が構築するのかへの関心が高かったため。 ★

問題10

【資料 1】の空欄⑥は、山田さんが【資料 2】と【資料 4】を見比べて気付いたことが入ります。山田さんの気付きとして、最もふさわしい内容は選択肢のうちのどれですか。【資料 1】～【資料 4】を参照し、選んでください。

- 1) 個人よりもネットワークや集団で活動し、アートを社会変革の手段として用いることで、美術の制度に新しい視点をもたらそうとしているみたい
- 2) アフリカ、中南米、アジアなどの歴史の再検討や地域課題に取り組むアーティストや研究者ら実践者や組織の活動が、アート界への影響力を増しているみたい
- 3) アートを介して地域経済の循環を生む組織づくり、それぞれの文化背景から社会問題を採り上げる活動など、多方面の専門家が領域横断をしつつローカルな動きを重視しているみたい
- 4) 作品を生み出すプロジェクトだけでなく、そのプロセスも含めて教育や地域社会との関わり方とか、美術館のあり方そのものに新しい視点をもたらそうとしているみたい ★